



2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月6日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
 コード番号 2438 URL <https://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 大吉朗
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の連結業績(2025年5月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	5,272	△3.2	284	△10.5	306	△5.4	193	△3.1
2025年4月期第3四半期	5,444	4.7	317	△5.6	323	△9.2	199	△14.0

(注) 包括利益 2026年4月期第3四半期 213百万円(4.9%) 2025年4月期第3四半期 203百万円(△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	12.43	—
2025年4月期第3四半期	12.33	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	5,992	5,287	88.2
2025年4月期	6,349	5,386	84.8

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 5,287百万円 2025年4月期 5,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,580	4.4	435	150.5	450	151.4	261	—	16.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年4月期3Q	17,464,000株	2025年4月期	17,464,000株
2026年4月期3Q	2,318,846株	2025年4月期	1,759,346株
2026年4月期3Q	15,569,663株	2025年4月期3Q	16,189,607株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復で推移いたしました。一方、不確実性の高い国際情勢や、継続的な物価上昇などが景気下振れリスクとして懸念されており、依然として先行き不透明な状態が継続しております。

このような環境の中、当社は、景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等画像映像のデジタル加工や通信出力サービスを主に提供するフューネラル事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するフォトブック事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指す空中ディスプレイ事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部売上を含んでおります。

(フューネラル事業)

当事業におきましては、自社営業による新規顧客契約を着実に積み重ねましたが、当期に入ってから全国的な葬儀施行件数の減少傾向は第3四半期におきましても継続しており、主力である画像処理収入は前年同四半期に比べ減少いたしました。それに連動し、額やペーパーなどの売上も苦戦いたしました。一方、遺影写真出力用システムやサイネージ機器などのハード機器売上は好調でした。また、葬儀業界向けDXサービスである「tsunago」は、弔電や供花などの利用件数が好調であり、利用が広がっております。加えて、AIを活用した新サービス「snapCINEMA」の契約拡大に努めてまいりました。

利益面につきましては、画像処理収入の減少に伴う粗利減が大きく響き、また、人件費の増加、各種ソフトウェアやクラウドサービスの利用料が増加したため、セグメント利益は減少いたしました。

その結果、売上高は2,477,725千円（前年同四半期比99.0%）、セグメント利益は472,274千円（前年同四半期比81.0%）となりました。

(フォトブック事業)

当事業では、プロフェッショナル写真家向け市場では「アスカブック」、一般消費者向け市場では「マイブック」ブランドで展開しております。また、スマートフォンで撮影された写真をもとにフォトブックや写真プリントをOEM供給しております。

プロフェッショナル写真家向け市場では、主力であるウェディング市場は、挙式規模の縮小傾向や写真のデジタル化傾向により厳しい環境にあります。そのような状況の中、オンラインセミナーの実施やデータ納品システム「グランピック」の機能強化を図るとともに、大手顧客への値上げの実施や写真加工関連の周辺業務を担うBPO型サービスの提案を進めました。

一般消費者向け市場についても、依然として厳しい環境が継続しており苦戦しておりますが、季節用品となるカレンダーや卒業アルバムのプロモーションを進めるとともに、ファンミーティングの実施や、写真集発注用ソフトウェアのテンプレートや素材を充実させてまいりました。バーチャルビジネス分野では、連結子会社である株式会社BETの海外展開や男性ライバー事務所の立ち上げを進めてまいりました。

利益面につきましては、株式会社BETの損益が苦戦するとともに、原材料価格の高騰や人件費上昇の影響を受けたものの、価格改定に加え、固定費の削減、生産性向上への取組の成果により、粗利率が改善し、セグメント利益は増加いたしました。

その結果、売上高は2,732,481千円（前年同四半期比97.2%）、セグメント利益は481,725千円（前年同四半期比110.6%）となりました。

(空中ディスプレイ事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指しており、独自技術により空中結像を可能にする「ASKA3Dプレート」について、ガラス製、樹脂製それぞれ開発、製造、販売しております。

営業面につきましては、営業方針を見直し、これまでのプレート単体販売中心から、空中ディスプレイの体験価値をコンテンツや筐体と融合したパッケージ製品としての提供にシフトしてまいりました。その方針のもと、BtoB

向けの「浮空ライブステージ匠・MAX」やBtoC向けの「浮空ライブステージHome」を拡販する活動を進めてまいりました。特に、エンタメ、観光、教育分野に向け、自治体を含め提案しております。海外におきましては、主にアジア地域において、戦略パートナーとの交渉を継続しております。

製造・開発面につきましては、自社技術開発センターにおいて、ガラス製ASKA3Dプレートの製造開発を進めてまいりましたが、想定以上の時間を要しており、当面は在庫品の販売に注力する方針のもと、この度5月末での閉鎖にむけ準備を進めてまいりました。一方、樹脂製ASKA3Dプレートにつきましては、特許やノウハウをライセンスパッケージ化し、その提供にむけて交渉を進めてまいりました。また、能動系技術を中心とした新技術は特許申請に加え、試作品を段階的に製作し、戦略パートナー獲得に向けた動きを進めております。

損益面につきましては、売上は厳しい状況であったものの、案件ごとの採算向上を進め、広告宣伝費の絞り込みや研究開発テーマの限定、減価償却費の減少などにより、前年同四半期並みの損失となりました。

その結果、売上高は68,753千円（前年同四半期比51.2%）、セグメント損失は211,893千円（前年同四半期は205,343千円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,272,183千円（前年同四半期比96.8%）、経常利益は306,370千円（前年同四半期比94.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は193,457千円（前年同四半期比96.9%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ356,240千円減少し、5,992,986千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が115,194千円増加した一方で、印刷機への設備投資及び自己株式の取得等により現金及び預金が691,136千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ257,494千円減少し、705,377千円となりました。これは主に、未払金が110,807千円、賞与引当金が86,010千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ98,745千円減少し、5,287,608千円となりました。これは主に、自己株式の増加186,337千円及び配当金の支払い109,932千円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を193,457千円計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月10日に発表いたしました2026年4月期連結業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,686,873	995,737
受取手形及び売掛金	824,760	939,954
商品及び製品	379,964	369,966
仕掛品	32,350	33,183
原材料及び貯蔵品	96,893	100,524
その他	62,889	127,407
貸倒引当金	△10,166	△9,537
流動資産合計	3,073,565	2,557,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	755,156	725,978
機械装置及び運搬具(純額)	398,823	508,235
土地	844,060	844,060
その他(純額)	157,991	177,917
有形固定資産合計	2,156,032	2,256,193
無形固定資産		
のれん	260,325	231,400
その他	191,325	184,001
無形固定資産合計	451,650	415,401
投資その他の資産		
投資有価証券	331,602	360,357
繰延税金資産	226,487	223,409
その他	109,888	180,387
投資その他の資産合計	667,978	764,154
固定資産合計	3,275,661	3,435,749
資産合計	6,349,226	5,992,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	172,395	145,004
未払金	293,956	183,149
未払法人税等	62,602	70,000
前受金	16,111	6,448
賞与引当金	181,640	95,630
その他	230,625	202,249
流動負債合計	957,331	702,481
固定負債		
退職給付に係る負債	4,343	2,775
その他	1,197	119
固定負債合計	5,541	2,895
負債合計	962,872	705,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	624,759	609,018
利益剰余金	5,247,868	5,331,393
自己株式	△1,012,228	△1,198,565
株主資本合計	5,350,699	5,232,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,654	55,462
その他の包括利益累計額合計	35,654	55,462
純資産合計	5,386,354	5,287,608
負債純資産合計	6,349,226	5,992,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
売上高	5,444,406	5,272,183
売上原価	2,988,458	2,882,539
売上総利益	2,455,948	2,389,643
販売費及び一般管理費	2,138,259	2,105,205
営業利益	317,688	284,437
営業外収益		
受取利息	2,065	2,990
受取配当金	2,125	2,575
保険金収入	—	11,082
為替差益	550	3,661
その他	2,272	2,607
営業外収益合計	7,013	22,917
営業外費用		
自己株式取得費用	720	737
投資事業組合運用損	249	247
その他	13	—
営業外費用合計	983	985
経常利益	323,718	306,370
特別損失		
固定資産除却損	11,431	1,852
特別損失合計	11,431	1,852
税金等調整前四半期純利益	312,287	304,517
法人税、住民税及び事業税	112,642	111,060
法人税等合計	112,642	111,060
四半期純利益	199,645	193,457
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,645	193,457

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益	199,645	193,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,578	19,807
その他の包括利益合計	3,578	19,807
四半期包括利益	203,223	213,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,223	213,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディス プレイ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,502,060	2,808,017	134,328	5,444,406	—	5,444,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,241	—	4,241	△4,241	—
計	2,502,060	2,812,259	134,328	5,448,648	△4,241	5,444,406
セグメント利益 又は損失(△)	582,770	435,608	△205,343	813,035	△495,347	317,688

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△495,347千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディス プレイ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,477,725	2,725,703	68,753	5,272,183	—	5,272,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,777	—	6,777	△6,777	—
計	2,477,725	2,732,481	68,753	5,278,960	△6,777	5,272,183
セグメント利益 又は損失(△)	472,274	481,725	△211,893	742,105	△457,668	284,437

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△457,668千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	276,160千円	225,146千円
のれんの償却額	28,925千円	28,925千円